

2011年度高知大学国際・地域連携センター国際連携部門
講演会&ワークショップ

文法の対照研究と

異文化理解

講師

INOUE Masaru

井上 優 氏

(麗澤大学 外国語学部・大学院言語教育研究科教授)



プロフィール

1988年より2011年まで国立国語研究所において研究に従事する。2011年4月より現職。日本全国の主要大学で対照言語学の講義を担当する。現代日本語の文法・意味について研究し、日本語研究者の立場から、日本語と外国語との対照研究にも取り組んでいる。著書として『日本語文法のしくみ』(シリーズ・日本語のしくみを探る)(研究社、2002)、日本語教育ブックレット3『日本語教師のための対照研究入門』(国立国語研究所、2003)等。

講演内容

文法研究のエッセンスは、物事の背後にある「しくみ」を見出すことにあります。また、言語の対照研究で最も重要なことは、母語ではない言語の現象を自分の母語の現象と関連づけて考えることです。この講演では、「しくみを見出す」、「関連づけて考える」という二つのことが、「異文化」を理解する上で本質的に重要なことを、具体例を挙げながら述べたいと思います。

プログラム

・講演会(第一部)

13:00 受付開始
13:30 開 会
13:45～15:05 講 演
15:05～15:15 質疑応答
15:20 閉 会

・ワークショップ(第二部)

15:50～17:20

申込方法

- ①氏名、②住所・所属・職名、③連絡先を明記の上、FAXまたはメールにて下記お問い合わせ先までお申込みください。
なお、ワークショップ参加希望者は6月20日(月)までに必ずご連絡ください。
ワークショップのテーマ:「言語と文化の対照」
講演会は当日参加も可能ですので、お問い合わせの上、ご参加ください。

お問い合わせ先

高知大学 研究協力部 地域連携課 国際連携室 高知市曙町2-5-1
TEL:088-844-8781・8683 FAX:088-844-8718 E-mail:kt07@kochi-u.ac.jp

参加無料

